

国	モデル名	採用年	特徴
アメリカ	G-1	1930年代～	US NAVY用、ゴートスキン、ムートン襟
アメリカ	A-2	1931	レザー、シャツ襟、パッチ付き
アメリカ	B-2	1931	羊革+ムートン、防寒性重視、爆撃機搭乗者向け
アメリカ	B-3	1934	羊革×ボア、防寒性重視（爆撃機搭乗者用）
アメリカ	B-6	1939	B-3より軽量、羊革+ムートン、近距離飛行用
アメリカ	N-1 デッキジャケット	1940年代～	米海軍甲板作業員用、防風×ボア
アメリカ	M-41	1941	WWII初期型、オリーブ色、裏地あり
アメリカ	B-10	1943	布製シェル+アルパカライナー、量産型フライトジャケット
アメリカ	M-43	1943	コットン素材、4ポケット、ショールカラー
アメリカ	B-15	1944	B-10改良、後のMA-1原型、襟ボア付き
アメリカ	L-2A	1950年代	軽量ナイロン、初期型、アメリカ空軍ブルー
アメリカ	L-2B	1950年代～	軽量ナイロン、温暖地向け
アメリカ	MA-1	1950年代～	ナイロン製、リップ付き、オレンジ裏地（救難用）
アメリカ	N-2A	1950年代	寒冷地用、フード付き中綿入りナイロン、初期型
アメリカ	N-2B ジャケット	1950年代	中寒冷地用、ショート丈、フード分割可能
アメリカ	N-3A ジャケット	1950年代	極寒地用、フード付き、ナイロンシェル
アメリカ	N-3B ジャケット	1950年代	フードにファー、ヘビーゾーン対応、通称“スヌーピーコート”
アメリカ	M-51	1951	M-43改良型、アルミファスナー、ライナー対応
アメリカ	M-65	1965	スタンドカラー、フード収納、コットンナイロン
アメリカ	CWU-36/P	1970年代～	温暖地用ナイロンジャケット、難燃素材、ライトウェイト
アメリカ	CWU-45/P	1970年代～	現行型、難燃性素材、ベルクロあり
アメリカ	MA-2 ジャケット	1970年代～	MA-1の後継、シャツ襟、民間普及型
アメリカ	ECWCSパーカ	1980年代～	寒冷地用レイヤリングシステムの一部
イギリス	バトルドレスジャケット	1930年代～	ウール製、短丈、ハイウエストパンツとセット
イギリス	グレネードスモック	1940年代～	空挺部隊用、ポケット多数、風防高機能
イギリス	サーモルジャケット	1950年代～	ライナージャケット起源、Barbourなどに影響
イギリス	DPM スモック	1960年代～	カモ柄（DPM）、フード付き、ミリタリー人気高
イタリア	モーターサイクルジャケット	1950～60年代	エポレット、ライナー脱着式、美しいカット
イタリア	迷彩スモック（サンマルコカモ）	1970年代～	幾何学模様、フィット感重視
オランダ	フィールドジャケット	1950～80年代	シンプルな構造、落ち着いたカラーリング
スイス	アリミリカモジャケット	1960年代～	独自迷彩、コットン製、アウトドア人気
スウェーデン	モーターサイクルジャケット	1950～70年代	北欧らしいミニマルデザイン、耐寒性
ドイツ	モールスキンジャケット	1960年代	グレー系、防風コットン、上質な縫製
ドイツ	フレクターカモスモック	1990年代～	独自カモ柄（フレクターン）、高機能
フランス	ワークブルゾン（コックジャケット）	1940～50年代	青系サテン、簡素な構造、美しい染色
フランス	M-47 ジャケット	1947年	武骨なコットンツイル、大型ポケット
フランス	フレンチモーターサイクルジャケット	1950年代	防水コート、ラグラン袖、ベルトッド
フランス	F-2 フィールドジャケット	1970年代～	M-65影響、胸+腰ポケット、コットン製
ロシア	シェルパカジャケット	1950年代～	ロング丈、中綿入り、重装備対応
ロシア	アフガンカジャケット	1980年代	カーキ、厚手コットン、実用重視
中国	65式軍服	1960年代	スタンドカラー、胸パッチ、カーキ系
日本	旧日本軍軍服	戦前～戦中	スタンドカラー、ウール、装飾少なめ
日本	陸自迷彩防寒戦闘服	平成期～	迷彩柄、ライナー付き、国産機能素材